

平成29年度

一般公開 『上水記』

# 上水記展

地下に遺された

江戸の上水道

玉川上水の木樋と榼  
(17～18世紀)\*

玉川上水の榼 (19世紀)\*

秋え但馬も

『上水記』東京都指定有形文化財(古文書)

\*東京駅八重洲北口通路  
千代田区教育委員会蔵

江戸時代の水道の記録『上水記』 年に一度の一般公開

## 10月28日(土) — 11月5日(日)

### 東京都水道歴史館 3Fレクチャーホール

午前9時30分から午後5時まで  
(入館は午後4時30分まで)

会期中無休

観覧無料

JR中央線・総武線 御茶ノ水駅・水道橋駅  
地下鉄丸ノ内線 御茶ノ水駅・本郷三丁目駅  
地下鉄千代田線 新御茶ノ水駅  
地下鉄都営三田線 水道橋駅  
地下鉄都営大江戸線 本郷三丁目駅  
※自家用車の駐車場はありません。(各駅より徒歩約8分)



東京都水道歴史館

TOKYO WATERWORKS HISTORICAL MUSEUM

〒113-0033 東京都文京区本郷二丁目7番1号

TEL (03)5802-9040 FAX (03)5802-9041

水道歴史館 ホームページ

<http://www.suidorekishi.jp/>



同時開催

## 平成29年水道歴史展

## 貯水と水道 ~小河内ダム竣工60周年~



## 『上水記』とは

『上水記』は、玉川上水開削からほぼ140年後の寛政3年(1791)徳川幕府普請奉行上水方道方石野遠江守広通いしのとおとうみのかみひろみちによってつくられた、江戸上水の幕府公式記録(主として、神田・玉川上水の建設記録)です。天明8年(1788)に起稿し、3年がかりで3部作成されました。

青色の表紙に和綴りで10巻の構成となっており、1部は時の将軍11代家斉公いえなりに献上し(国立公文書館内閣文庫蔵、欠本あり)、もう1部は老中松平定信に進呈(所在不明)、残りの1部は上水方役所の保存用に置かれ、「上水方のみちしるべ」にしたと伝えられています。

明治維新により玉川上水の管理も明治政府、東京府に移管され、上水方の『上水記』は東京府土木課から水道局に引き継がれ、現在、東京都水道歴史館に保管されています。貴重な江戸の上水史料として、昭和52年(1977)4月5日、東京都指定有形文化財(古文書)の指定を受けました。現在、全巻が残されているのは東京都が保管しているこの1部のみです。

## 上水記展

上水記展では「地下に遺された江戸の上水道」をテーマに、工事や遺跡調査で発掘された江戸の上水跡を、『上水記』の記述と対比しつつ紹介いたします。恒例の『上水記』一般公開では、今年も実物を展示。なかでも第2巻の「玉川上水水元絵図并諸粹図」は、多摩川に造られた羽村取水堰を縦135.5cm×横514cmの大紙面に精緻かつ鮮やかに描いたもので、一見の価値がございます。年に一度の限定公開です。是非この機会にご覧ください。



第2巻部分

## 水道歴史展

『上水記』の公開に合わせて「水道歴史展」を開催いたします。本年は、昭和32年(1957)の小河内ダム(奥多摩湖)竣工から、ちょうど60周年にあたります。このことから、今回は「貯水と水道」と題し、江戸時代からの貯水の歴史と、小河内ダムの計画から竣工、その後の活用の歴史などを映像や実物資料を交えながら、グラフィックパネルで紹介いたします。



完成直後の小河内ダム



小河内ダム・コンクリート打ち込み最後のバケット

### 講座

#### 『上水記』を知る

10月7日(土) 展覧会開催に先立ち『上水記』の解説と  
14:00~14:30 展示の見どころをご紹介します講座です。

### 展示のご案内

#### 学芸員による展示解説

10月28日(土) 11月3日(金・祝) 11月4日(土)  
11:00~/14:00~(各回30分、同じ内容)

### ご来場者プレゼント

上水記展にお越しいただいた方に、  
記念品を差し上げます。

※お一人様1点

いずれも参加料無料、お申込み不要。3階レクチャーホールにお集まりください。